

市政記者 各位

経済観光文化局 屋台の魅力向上担当

『屋台 DX』 がさらに進化！ ～ 公式LINE がますます便利に ～

福岡市を代表する観光資源であり、市民の憩いの場でもある屋台に、最新のデジタル技術を活用する「屋台 DX」。昨年度スタートしたこのプロジェクトが、大きく進化を遂げました。

今回はサービス内容を充実し、あわせて対象エリアを市内の全屋台に拡大することで、屋台をますます楽しくご利用いただけます。

屋台の LINE 公式アカウントをパートナーに、福岡の夜の魅力を満喫してください。

※ 昨年、福岡市屋台基本条例制定 10 年と、同じく設立 10 周年の LINE ヤフーコミュニケーションズ株式会社との共働プロジェクトをスタート。長浜エリアを対象(当時)に「屋台 DX」にチャレンジしました。屋台の LINE 公式アカウント「FUKUOKA GUIDE」を立ち上げ、長浜屋台街の営業状況、各屋台のメニューなどの個別情報がわかる仕組みを導入。今年度はさらに取り組みを進化させています。



屋台 DX① 屋台の裸電球で営業状況がわかる！

屋台の代名詞である裸電球に明かりが灯ると、その屋台の営業がわかるようになりました。屋台に設置したIoT電球[※]が通電(点灯)すると、自動的にシステムが感知し、その日の営業状況を、屋台のLINE公式アカウント「FUKUOKA GUIDE」で表示する仕組みです。



営業（出店）が天候に左右され、『行きたい屋台が今日営業しているかどうか、現地に行ってみないとわからない』という、屋台特有のお客様の不便さを DX が解決します。

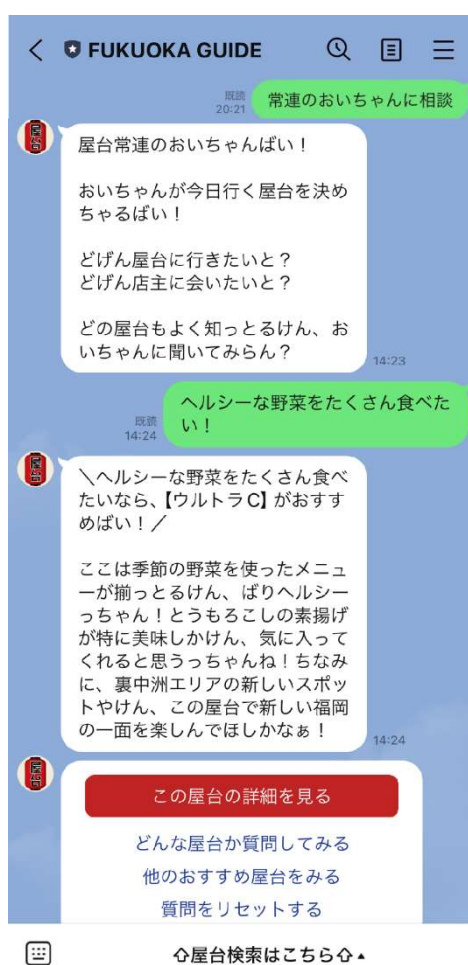
また、裸電球という既存の設備を活用することで、店主の手間を一切かけずに、営業状況を発信することができます。

[※]ハローテクノロジー株式会社（本社：東京）の特許製品「ハローライト」。電球1つで基地局と通信できる SIM を内蔵した IoT 電球 (<https://hello.inc/hellolight/>)

屋台 DX② 生成 AI が“おすすめ屋台”を教える！

屋台の LINE 公式アカウントで、福岡市内の約 100 軒の屋台から、「現在地」や「グルメ」などの条件で、好みの屋台を簡単に検索できるようになりました。

また今回、生成 AI (Chat GPT) を導入することで、「屋台常連の“AI おいちゃん”」とのやりとりから、おすすめの 1 軒を選ぶことも可能です。『同じ趣味の店主と話したい!』など屋台ならではの質問も、対話形式で回答してくれます。



↑屋台の LINE 公式アカウント「FUKUOKA GUIDE」の友だち追加はこちら

※「FUKUOKA GUIDE」の屋台検索機能は、英語版への切り替えが可能です。

※「屋台 DX」では、屋台データを新たな民間サービスにも活用できるよう、福岡地域戦略推進協議会(FDC)、公財九州先端科学技術研究所(ISIT)と共働し、「福岡市データ連携基盤」を利用した仕組みとしています。
(<https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/data/shisei/fukuokacitydataconnectionssystem.html>)

【 報道機関向けの体験会を実施 ～長浜と『裏中洲』で～ 】

屋台街の現地で、報道機関向けの体験会を行います。

裸電球が灯り、スマホ画面（LINE）で営業状況がわかる場面や、屋台検索の方法の説明など、ご要望に沿った形での取材が可能です。

日時：7月24日(水) 午後6時～、場所：長浜屋台街

内容：担当者による概要説明（福岡市役所、LINE ヤフーコミュニケーションズ(株)）
屋台内での取材・撮影、担当者や屋台営業者へのインタビュー など

Check it out

今回は「屋台 DX」の対象エリアが拡大したため、長浜に加えて、『裏中洲』での撮影も可能です。（博多区中洲中島町1-1、デュークスホテル中洲付近）

※『裏中洲』は、昭和通り沿い・地下鉄中洲川端駅に最寄り（北に徒歩3分）の屋台を示す名称として、今回新たに銘打ちました。新旧屋台10軒が連なるディープなスポットとして、今後、情報発信をしていきます。

<長浜>



<『裏中洲』>



<問い合わせ先> 経済観光文化局 屋台の魅力向上担当
担当：濱田 電話：092-711-4084